

2020

星槎道都大学美術学部デザイン  
教室所属教員有志作品集

西田陽二  
松岡龍介  
北嶋洋一  
梅田 力  
三上いずみ



「赤と黒の誘惑」 F100号 油彩×キャンバス 2019年作 改組新 第6回日展

西田陽二 Nishida Youji



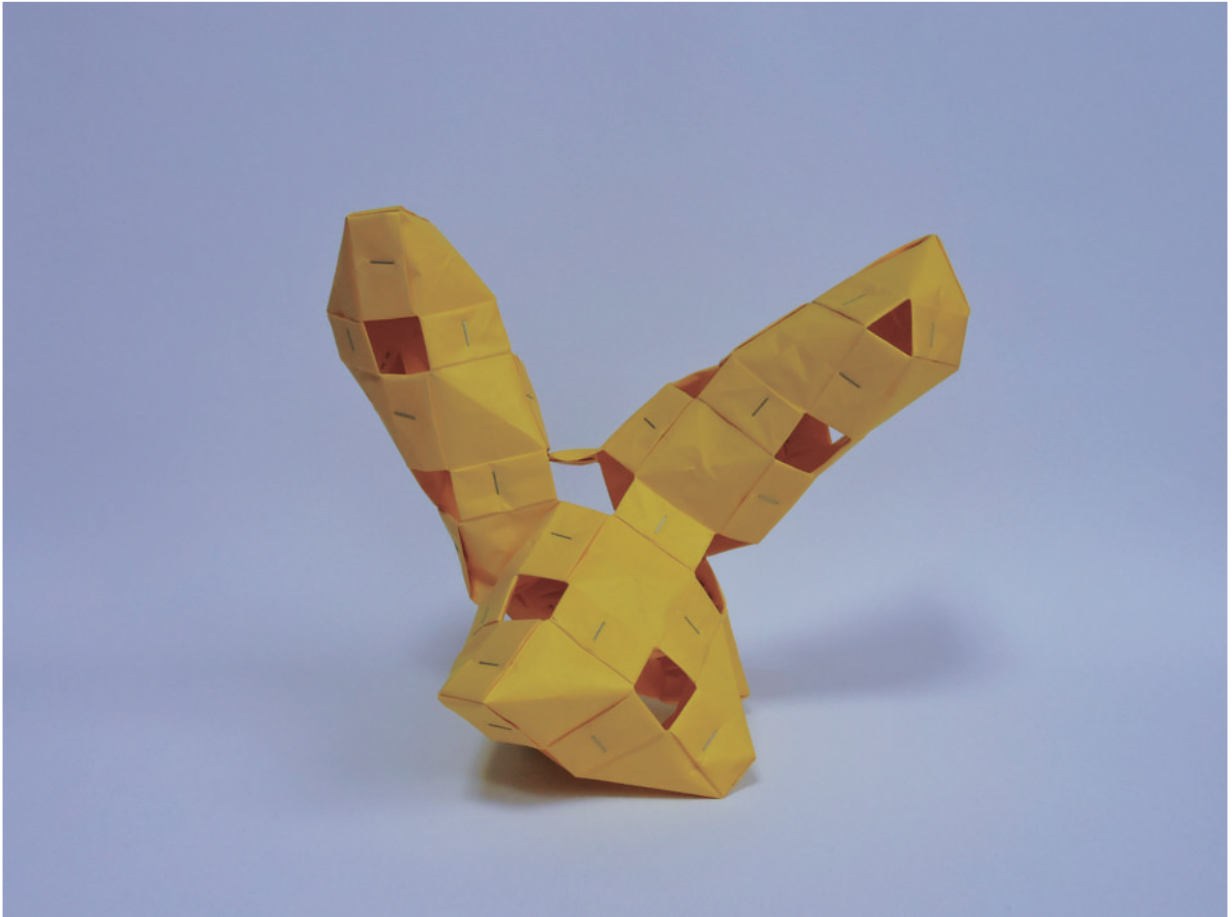




「A woman with tow dragons」 F130号 油彩×キャンバス 2019年作 第105回光風会展出品作

西田陽二 Nishida Youji





「無題」／サイズ 可変／写真 プリンタ出力／2019

正四角形の胴の4辺に連結部分となる4本の腕がついたユニットを28個直線状に連結した展開図から立体造形を制作した。展開図の端部を角状に組み立てることで2個の長い突起のある形態となっている。このユニットは、正四角形と同定できる<sup>[1]</sup>ので、縦横比が1:28の矩形の展開図から作られた造形であるとも言える。

参考文献

[1] 松岡龍介「ユニット折紙作品の形態構成について」『星槎道都大学紀要 美術学部』第45号 2019.3 pp.33-38

松岡龍介 Matsuoka Ryusuke





「潜水する人」／サイズ 可変／写真 プリンタ出力／2019

松岡龍介 Matsuoka Ryusuke







「無題」／サイズ 可変／写真 プリンタ出力／2019

抽象絵画を音楽のように語るワシリー・カンディンスキー（1866-1944）の共感的な感覚のようなものは、パルテノンのパンアテナイア祭のフリーズから聞き取れる音楽<sup>[1]</sup>や、フェルディナン・ド・ソシュール（1857-1913）が詩行から見いだした“APOLLO”，あるいは、明恵上人（1173-1232）の「あじあじ」感にも似て名状し難い創作に連関する感覚であるように思える。

参考文献

[1] シャルル・ブロー：構図法—名画に秘められた幾何学—，小学館，2000.10，pp.31-37

松岡龍介 Matsuoka Ryusuke





「le ragazze」 イラストレーション サイズ：H 1030 mm × W 728 mm  
原画：アクリルガッシュ 加筆・レイアウト：Clip Studio

北嶋洋一 Kitajima Youichi







「le ragazze」 イラストレーション サイズ：H 728 mm × W 1030 mm  
原画：アクリルガッシュ 加筆・レイアウト：Clip Studio

北嶋洋一 Kitajima Youichi





「le ragazze」 イラストレーション サイズ：H 728 mm × W 1030 mm  
原画：アクリルガッシュ 加筆・レイアウト：Clip Studio

北嶋洋一 Kitajima Youichi





「刻」 第74回全道展北海道新聞社賞受賞

梅田 力 Umeda Isao



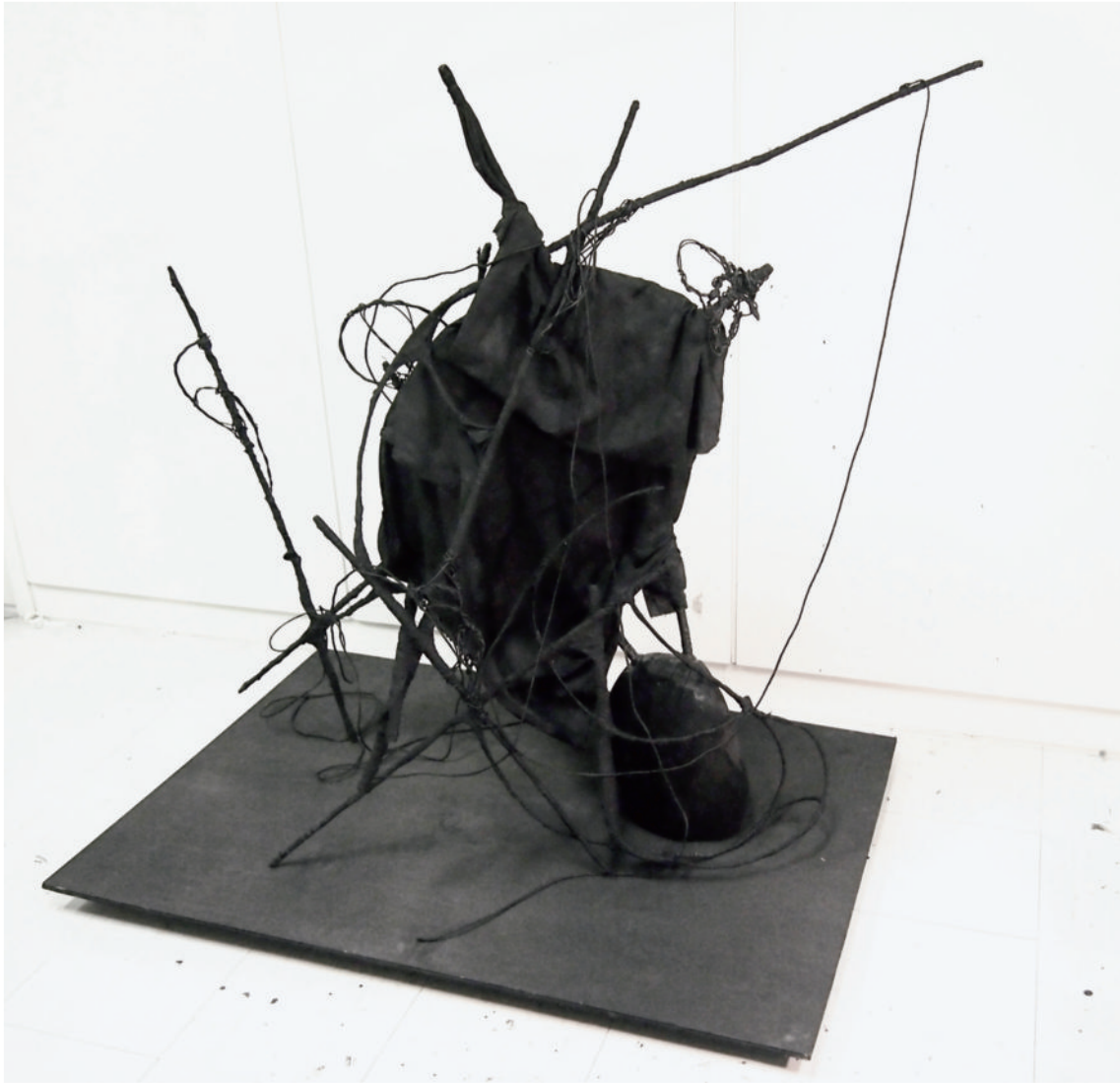




「無題」 組彫刻

梅田 力 Umeda Isao





「無題」 組彫刻 全道展受賞者「新鋭展」出品作

梅田 力 Umeda Isao







「無題」

梅田 力 Umeda Isao





「サルナシのとき」 100 cm×180 cm 型絵染 木綿 シリアス染料

ある深い山奥の湧き水の近くに幻の酒といわれる猿梨ノ誉の酒蔵がある

三上いずみ Mikami Izumi







「夜鳴き鳥の夜」 90 cm×180 cm 型絵染 木綿 シリアス染料

夜鳴き鳥が鳴くと魂の入れ換えが起こるという

三上いずみ Mikami Izumi

